

神戸学院大学附属中学校・高等学校 第3次中期行動計画 中期計画（第3層）2023年度達成度評価表

中期目標		評価	理由
中高大連携教育を推進し、社会の変化に対応した教育活動を展開することで、教育力の向上を図ります。			
中期計画	1 新教育課程(4コース)並びに新しい高大接続に沿ったカリキュラムの実践	A	<p>【実行計画】</p> <p>1 策定された4コースの検証と改善                  2 新しい高大接続における大学入試に対応したカリキュラムの検証                  3 学習意欲を高める探求活動の充実と連動したカリキュラムの検討                  4 生徒の希望に沿った進路につながるカリキュラムの推進                  5 グローバル社会に対応する英語教育の充実</p> <p>2022年度入学生から新課程がはじまり、学力とカリキュラムの関係を分析し、コースの編成、及びカリキュラムの検討を行った。また観点別評価での成績と学力の関連性を継続して分析する。「学習」ではなく、「探求」活動になるようなカリキュラムを構築し、質の高い「課題研究論文」の作成、冊子を発行した。                  特進グローバルコースの3カ月留学と他コースからの長・短期留学を促進し、帰国後の英検取得等と大学進学意欲を高めた。</p>
	2 建学の精神に沿った情操教育の推進	A	<p>【実行計画】</p> <p>1 中学・高校教育の中での「建学の精神」の育成                  2 福祉活動、地域社会貢献の推進                  3 清掃活動を通じた奉仕教育の推進</p> <p>中高ともに4月に予定していた新入生の宿泊研修をおこなうことができ、『建学の精神等』中高生活を始めるための意識改革の面で時間を取ることができた。                  またHR、行事などの始まりに静坐を実施し創立当初から実施されている本校の伝統であることを周知した。                  神戸マラソンボランティア、地域との合同の掃除活動などに参加することができた。</p>
	3 教育環境の整備充実	B	<p>【実行計画】</p> <p>1 安全、快適な学校施設の検証                  2 防犯対策、防災対策、環境問題の検証および配備とマニュアルの整備                  3 生徒の奨学金の検証</p> <p>机・椅子等の点検・整備及び入れ替えによる教育環境の整備がすすめられた。                  奨学金、支援金については、生徒・保護者に向けて広報を行った。                  避難訓練の実施はできなかった。</p>
	4 多方面にわたる中高大連携の推進	B	<p>【実行計画】</p> <p>1 移転後の教育環境での中高大連携教育の検証と実践                  2 学校法人神戸学院設置学校連携会議並びに連絡調整会議の効率的運営                  3 課外活動連携の検証と推進                  4 高校在学中の大学での単位修得の検討                  5 大学生の実習・研究の受け入れの推進とチューター制の導入</p> <p>高大連携授業、学部紹介、KPCキャンパスツアー等が実施された。教育実習生の受け入れも積極的に行い、複数名を講師として迎え入れることになっている。                  神戸学院設置学校連携会議並びに連絡調整会議が定期的開催され、中高大連携の活動が計画的に実施できた。                  心理学部生、心理学研究科大学院生の実習を受け入れを実施した。</p>
	5 国際理解教育の活性化	B	<p>【実行計画】</p> <p>1 各コースの特性に応じた国際理解教育の推進                  2 国際的な視野を育成する留学および海外研修プログラムの検証                  3 国際的コミュニケーション能力育成に向けた検定試験の活用                  4 国際交流活動のさらなる充実</p> <p>コロナで実施できていなかった海外修学旅行を国内・海外選択制にして実施することができた。                  留学に関しては、高校2年生のグローバルクラスのニュージーランド留学を実施し、23名の生徒が参加した。2023年度には1年間の長期留学に2名の生徒が参加した。                  高校グローバルクラスと中学生に対しては、ネイティブの講師による夏の英語研修を実施し、高校グローバルコースと中高一貫コースでは、英会話の授業においてマンツーマンのオンライン英会話レッスンを取り入れ、継続的に取り組んだ。英検やGTECは全校生を対象に積極的に受験させ、対策学習に取り組むことで、コミュニケーション力の育成を図った。</p>

6 ICT教育環境の充実および教育の情報化推進	B	<p>【実行計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 1人1台のICT機器活用の推進</li> <li>2 プロジェクタ活用の推進と研修機会の設定</li> <li>3 デジタル教科書・デジタル教材の活用の検証と研修機会の設定</li> <li>4 デジタル採点の活用による職務効率化と採点データの分析・活用</li> <li>5 eラーニングの推進、ICT関連資格の取得奨励、共通テスト「情報Ⅰ」への対応</li> <li>6 中高大連携、国際交流におけるICT活用の推進</li> </ol>	<p>教育用アプリ（Classi/ロイロノート・スクール/Microsoft Teams）を積極的に活用し、遠隔授業にも対応した。併せて、ICTを使用した教職員研修（Find! アクティブラーナー）を継続的に実施した。また、すべての普通教室・特別教室にプロジェクタを配備して活用を開始、デジタル採点（リアテンダント）も導入し、採点業務の軽減とミスの削減を図った。一方で、デジタル教科書の導入の準備を進めた。</p>
7 課外活動の振興	B	<p>【実行計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学と連携した課外活動の強化</li> <li>2 課外活動を通じた礼儀作法の向上</li> <li>3 課外活動の場における校訓の理解と習得</li> <li>4 課外活動における達成目標の具体的設定と結果につながる施策の検討</li> </ol>	<p>生徒会活動や課外活動における動きも活発になってきた。文化会・体育会問わず、附属から進学した生徒が主力として活躍する姿も見受けられるようになった。また、指導者、選手間交流も盛んに行われている。中高大課外活動クラブ連絡会を開催し指導者交流を行った。また大学施設の利用に関して貸出ルールが策定された。</p>
8 広報活動の充実	B	<p>【実行計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教員一人ひとりが生徒募集を意識した教育活動の推進</li> <li>2 生徒を通じての広報活動の推進</li> <li>3 大学と連携した効率的な広報活動の充実</li> <li>4 安定した募集定員の確保</li> <li>5 中学校および学習塾に対する入試広報の推進と情報収集、発信体制の整備</li> </ol>	<p>各塾の状況や情報を収集し、より効果的な塾訪問を検証し実施した。また塾が開催する説明会に積極的な参加依頼を要請した。大学と連携し、効果的な広報を展開した。夏のオープンスクールを生徒主導で実施した。生徒募集に対して共通理解をし、年2回は学校説明会の運営に参加し生徒募集に対する意識を高めた。</p>

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る